あなたの大切な人のために

校長　松原秀樹

今、私たちの、健康面における最大の緊急事態は、コロナウイスの流行です。こうした危機は初めてではありませんし、これが最後ということもないでしょう。しかし今回のコロナウイルスは、武漢で登場してから、わずか3か月でこれまでのウイルスとは違う記録を作りました。それは、「短期間で世界的な流行を果たした、最初の新型ウイルス」という記録です。2003年のSARSウイルスもそうですが、それは、発生しても短期間のうちに鎮圧されました。また、HIVをはじめとするほかのウイルスは、何年もかけてようやく流行を始めました。

また、今回の新型コロナウイルスの流行は、私たちが生きている世界が、どれほど複雑に絡み合っているか、そしていかにグローバルであるかを、私たちに教えてくれています。

「今回の新型コロナウイルスは、人類が知る限り最も単純な生命体で、私たちの個性に対して何の関心も持っていない。」と、ある本に書いてありました。

どういうことかというと、「私たちの年齢も、性別も、国籍も、好き嫌いも、このウイルスにとっては無意味」ということです。このウイルスの前では、人類はたったの3種類に分類されるだけです。それは、「ウイルスがこれから感染させることのできる人々」「ウイルスにすでに感染した感染者」そして、「ウイルスにはもう感染させることのできない人たち」です。

　私たちは、今、「ウイルスがこれから感染させることのできる人々」の状態にいます。だから、「3密」「マスクの着用」「換気」これらのことについて、もう一度振り返って考える必要があります。

その考える手段として、「再生産数」という単語を覚えてください。ウイルスの感染力をあらわす単語です。「1人の感染者が治癒するまでの間、平均何人に感染させるか」という数値です。

では、「基本再生産数」とは何でしょうか。これは、流行当初、誰も免疫を持っていないところに、1人の感染者が入った時の再生産数です。これは、都会と地方で、あるいは離島など、人口密度で数値は変わってきます。

「実効再生産数」は、その後、流行が進んで、免疫を持っている人が増えたり、ワクチンを打つなどの対策がなされた後の「再生産数」のことを言います。

この「実効再生産数」が、「１」を超えるか、「それ未満」かによって、その後が違ってきます。図を見てください。

・「１」だと、1人の感染者が1人に感染させて、その結果感染者は一定となります。

・これが「２」以上だと、感染者は平均2人以上に感染させ、その結果、ネズミ算式※に

どんどん数が増えていきます。

・しかし、「１」未満は、感染者は減少していきます。これが大事！

　今回のコロナウイルスの「基本再生産数」は、2.5くらいと言われています。この数値が高いか低いかということは、あまり意味がありません。なぜなら、例えば、「」が15程度になるのに対して、前世紀のスペイン風邪は、2.1とずっと低いのです。それでもスペイン風邪は何千万人を死に至らしめました。

今、私たちが関心を持たなければならないのは、「実効再生産数1未満」です。「実効再生産数」が「１」より小さくない限り、つまり、１人の感染者から伝染する人数が、1未満でなければ、状況は良くならないということです。

「実効再生産数」が1未満であれば、拡がりは止まり、病気は終息します。逆に、ほんの少しでも1より大きければ、流行は止まらないことになります。

ただし希望はあります。この「実効再生産数」の数値は変化するそうです。変化するかどうかはある意味、私たち次第です。それは、私たちが感染のリスクを減らし、ウイルスが人から人へ伝染しにくいように自分たちの行動を改めれば、「実効再生産数」は小さくなり、感染拡大のスピードは落ちます。

必要な期間だけ、我慢する覚悟が私たちにあれば、ついには「１」を切って、流行も終息に向かうはずです。「実効再生産数」を下げることこそ、私たちの我慢の意義なのです。

本当に流行を止めるには、どうすればいいのでしょうか。それは、ワクチンを使うしかないと思います。そのワクチンは、現在世界中の研究者が、必死になって開発していますが、現在はまだありません。

だからこそ「忍耐」しかないのです。じゃあ、どこにも行かず、じっと家に留まっているしかないのでしょうか。それは違います。それでは単なる「思考停止状態」以外の何ものでもありません。私たちがすべきことは、「実効再生産数」を下げることです。そのためにすることは、「手洗い・うがい・マスク」そして「なるべく不要な行動を自粛する」です。そして「免疫獲得（ワクチン）」まで耐えることです。そのために、以前皆さんにお話しした、「誠実」に行動することと思います。

**1未満**

**2以上　　　　　１**

※ネズミ算：1人→2人→4人→8人→16人